

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|----------------------|------------|--------------------|-----------|
| 事業名 | 1079 保育所管理運営事業 | 会計 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 03 | 民生費 |
| | | 項 | 04 | 児童福祉費 |
| 基本施策 | 08 子どもを産み育てやすい環境をつくる | 目 | 04 | 保育所費 |
| | | 細目 | 229 | 保育所管理運営事業 |
| 行革大綱の重点事項番号 | | 細々目 | 01 | 保育所管理運営事業 |
| 担当部課 | コード | 703000 | | 担当者氏名 |
| | 名称 | 大山田支所住民福祉課 | | |
| | | 連絡先 | 47 - 1151 (内線) 210 | |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------|--|-------|
| 対象(誰を、何を) | 0歳から小学校就学前までの子ども及び保護者 | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | 保育に欠ける子どもが保育所において安全で心身の健全な発達と充実した生活ができるとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができる。 | |
| 根拠法令・要綱等 | 児童福祉法、児童福祉施設最低基準、次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法 | |
| 開始年度 | 平成 年度 | 関連事業 |
| 終了年度 | 平成 年度 | |
| H21 事業内容 | ①保育所(2園)の管理運営 ・施設管理運営、入退所事務 ・一時保育及び延長保育事業 | |
| 社会情勢の変化等 | ・保育所(園)あり方検討委員会(平成19年度～平成22年度)を設置し、保護者のニーズ、保育園の運営、統廃合や民営化など調査研究を行っている。 | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|--------------|----|
| 1 建設用地 | |
| 2 建設面積(延床面積) | |
| 3 規模・構造 | |
| 4 総事業費 | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|-----------|----|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | |
| 2 配置人員 | 人 |
| 3 年間運営費 | 千円 |
| 4 市内の類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------|-----|----|----------|-----|------------------|------------------|
| | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| | | | 保育園入園延人数 | 人 | 目標 130 実績 138 | 目標 130 実績 140 |

| 成果指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------|-----|----------|----|-----|-----|-------------------------------|----------------|
| | | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| | | | | 入園率 | % | 定員を分母とし、入園者数を分子とした比率を指標をしました。 | 目標 80 実績 84 |

| 投入コスト | H20 決算 | | H21 決算 | | H22 当初予算 | | H23 当初要求 | |
|--------------|------------|------------|------------|------------|----------|------|----------|--|
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | |
| 直接事業費計(A) | 48,479 | 38,429 | 42,159 | 42,159 | | | | |
| Aの財源内訳 | 国庫支出金 | 80 | | | | | | |
| | 県支出金 | 3,252 | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 | 969 | 0 | | | | | |
| 一般財源 | 44,178 | 38,429 | 42,159 | 42,159 | | | | |
| 事業投入人件費(B) | 0.2人 1,440 | 0.2人 1,440 | 0.2人 1,440 | 0.2人 1,440 | | | | |
| フルコスト(A)+(B) | 49,919 | 39,869 | 43,599 | 43,599 | | | | |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) |
|-----------------------------------|---|-----------|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 | ○ |
| | 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | ○ |
| | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 | |
| | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 | |
| | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | ○ |
| | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | |
| | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 | |
| | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 | |
| | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | ○ |
| | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 | | |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | | |
| | 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 | ○ |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | | |
| 保護者の子育てと就労の両立を支援することができなくなる。 | | |
| 有効性 | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。 | |
| 達成度 | 当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 | |
| 効率性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | ○ |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

| | |
|----------|---|
| 改善策 | 保育所(園)あり方検討委員会において、保護者ニーズの調査を行い保育園の統廃合など適正な運営に向けて研究調査している。 |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 保育園の統廃合に向けての懇談会を保護者と行政で開催した。 |

今後の方向性(Action)

| | |
|------------------------------|--|
| 担当課長氏名 | 中村 崇 |
| 事業の方向性 | 【方向性】 現状維持 【理由】 地域の保育ニーズを把握し、その地域の合意の下に充実した保育サービスを提供していく。 |
| 現時点における課題、その他 | 産休代替保育士の確保が難しいので、保育士資格を持った人材の登録が必要。 |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 人材バンクの登録制の予定が現在のところたっていないので、当面はハローワークの求人募集を利用する。平成23年度から広報等で保育士資格を持った人の登録を呼びかける。 |